

# ■新型コロナウイルス感染拡大防止への対応（五洋建設）

## 新しい働き方への転換

～現場での三密回避の徹底と工事継続は建設業の社会的使命  
～ウィズコロナは、働き方改革と生産性向上（非接触、遠隔化、省力化）を一層推進する好機

### ○取組内容

#### ● 本社・支店、営業所での取組

##### 1 テレワークの推進

- ・緊急事態宣言中は出勤率30%未満、その他も50%未満を継続
- ・PC遠隔操作ツールの導入
- ・時差出勤の推進
- ・海外はそれぞれの国の指示に従って実施

##### 2 オフィス環境の整備

- ・スクール形式での座席配置

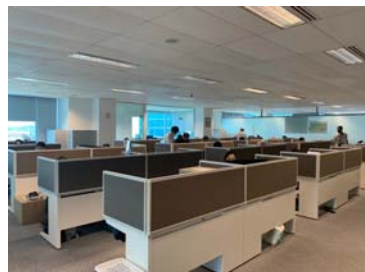
本支店、海外全てのオフィスでスクール形式の座席配置へ変更

- ・一人当たり面積の拡大

本社ビルに近接する新たなオフィスを賃借し、本社一部部署、東京土木支店、東京建築支店を移設、ゆとりある座席配置を実現



増設した新オフィスでのスクール形式での座席配置  
(東京建築支店)



スクール形式での座席配置へ変更  
(シンガポール営業所)

##### 3 移動機会の削減

- ・オンライン会議システムの活用による社内外会議、研修の実施
- ・オンライン監査、安全パトロールの実施

#### ● 工事事務所（協力会社を含め全員）

～昨年4月の緊急事態宣言以降取組みを継続

##### 1. 体調管理・衛生管理の徹底

- ・入場時体温測定、体調不良者の入場制限
- ・マスク着用、消毒液設置、手洗所の増設

##### 2. 時差通勤や朝礼の分散開催

- ・時間をずらして複数回、複数箇所で開催

##### 3. 三密回避の徹底（他者と2mの距離を確保）

- ・打合せの複数回開催、参加者を最少化
- ・休憩は時間をずらして実施
- ・事務所、会議室、休憩所の拡大/増設/三密を避ける配席

##### 4. 打合せのオンライン化

- ・発注者等との会議、打合せのオンライン化を推進
- ・発注者の現場臨場を推進

| 国・地域   | 20年度当初の稼働予定 | 再開時期   | 現在   |
|--------|-------------|--|------|
| シンガポール | 6月再開        | 20年9月以降はほぼ全ての現場が稼働                                   | 通常状態 |
| アフリカ   | 年度内中断       | モザンビーク：20年11月中旬～<br>マダガスカル：1期工事20年12月下旬、2期工事21年1月中旬～ | 通常状態 |
| その他地域  | 中断無し        | バングラデシュ、ミャンマーで1ヶ月程度中断                                | 通常状態 |

※ミャンマーは政情不安により、工事中断中